

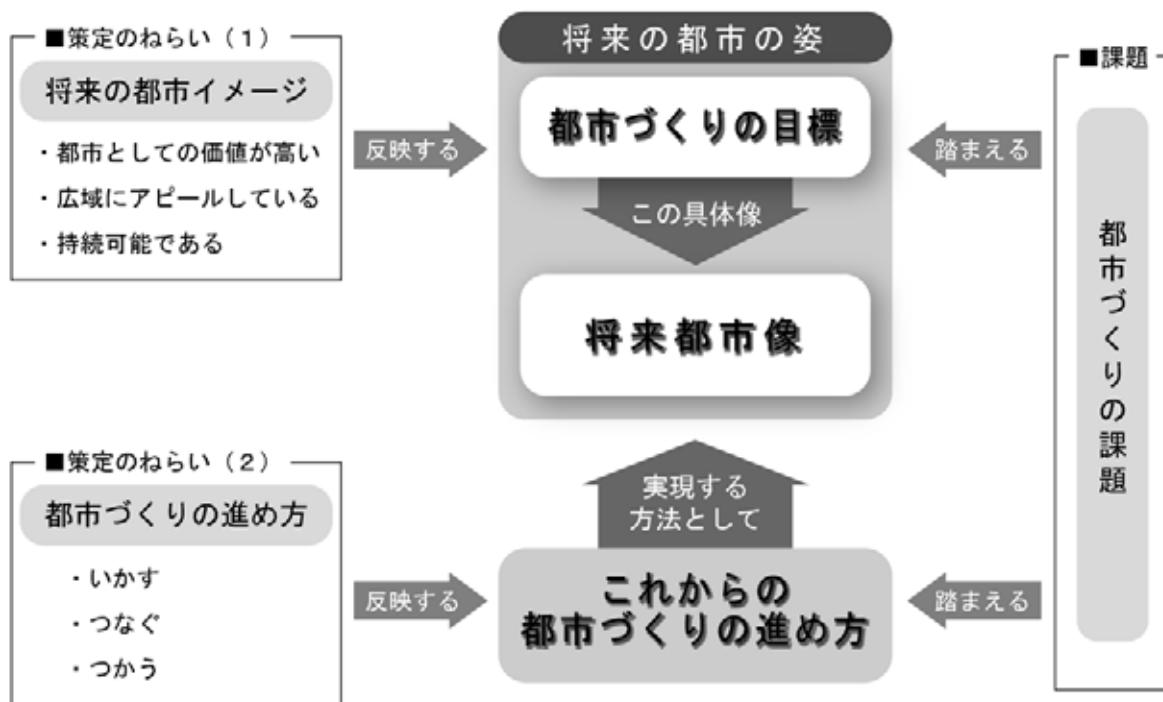
第Ⅱ章 都市づくり全体構想

Ⅱ. 1 将来の都市の姿と、これからの都市づくり

(1)「都市づくりの目標」と「将来都市像」、そして「これからの都市づくりの進め方」の位置づけ

- ・序章のなかの「策定のねらい」及び、第Ⅰ章の「都市づくりの課題」を踏まえ、「将来の都市の姿」と、これを実現する方法としての「これからの都市づくりの進め方」を位置づけます。
- ・「将来の都市の姿」は、「都市づくりの目標」と、この具体像である「将来都市像」で構成します。

「将来の都市の姿」と「これからの都市づくりの進め方」の位置づけ



(2)都市づくりの目標と、将来都市像

■本市を「住み働き楽しむ場である都市」とし、将来も持続的に発展するという視点から、【都市づくりの目標】と【将来都市像】を設定します。

- ・【都市づくりの目標】は、本市を「住み働き楽しむ場である都市」とし、安心して暮らせ、活力ある産業と心の豊かさで魅力的にするという視点から設定します。
- ・【将来都市像】は、平塚市の特性である「豊かな自然」が将来も現在同様美しくあり続け、人と街により織りなされる“湘南のひらつか”が、活力とにぎわいにあふれ、発展が持続的であるという視点から設定します。

「都市づくりの目標」と「将来都市像」

【都市づくりの目標】

住むなら平塚、あんしんの快適都市
創るなら平塚、かがやきの産業都市
集うなら平塚、ときめきの交流都市

【将来都市像】

豊かな自然につつまれて、人と街が織りなす
湘南のサスティナブルシティ（持続可能な都市）
ひらつか

注：サスティナブルシティ：質と量共に発展が持続可能である都市の意味。地球環境保全のため都市や市民ができることは何かを求め、技術開発を含めこれに取り組むこと。また、この美しい平塚市を次世代につないていくこと

■「都市づくりの目標」の内容を示します。

住むなら平塚、あんしんの快適都市

平塚は、首都圏にあって都会性と自然性をあわせもち、多様なライフスタイルが選択できる都市です。誰もが安心して、心豊かに生涯快適に暮らし続けることができるよう住みよさに重きをおき、誇りや愛着をもてる都市づくりを進めます。

創るなら平塚、かがやきの産業都市

平塚に培われた多様な産業は、今後も社会ニーズに応え持続的に発展し、市民の暮らしを支えていくことが期待されます。先見性をもち新たな価値創造に挑戦する英知が地域と連携し、自ら輝く活力があり、時代を先導し広くアピールする輝かしい産業都市づくりを進めます。

集うなら平塚、ときめきの交流都市

平塚には七夕まつりや平塚市総合公園、プロスポーツチーム、湘南ひらつかビーチパーク、風光明媚な里山などがあり、様々な人が集う交流資源となっています。訪れる人も迎える人も、様々な出会いや交流を通じてときめき、そして心豊かになる都市づくりを進めます。

(3)これからの都市づくりの進め方

- ・これからの都市づくりは、既にあるモノまたは新たにできるモノをいかし、つなぎ、有効につかうという考え方のもと、将来の都市の姿を実現します。

「これからの都市づくりの進め方」の基本的な考え方

【これからの都市づくりの進め方】
「いかす」と「つなぐ」と「つかう」

